

当院では、(社)日本損害保険協会寄附金(自動車損害賠償責任保険運用益助成金)による平成23年度交通災害等救急医療機器整備事業の補助をうけ、下記医療機器を購入しました。

## 人工呼吸器

平成23年7月20日

ICUに「アイ・エム・アイ人工呼吸器 Vela コンプリ(TypeD)」3式が導入されました。この装置は11種類の豊富な換気モードで小児から成人まで幅広い症例に対応し、6時間稼働できる内臓バッテリーを搭載、タービンモーター駆動により空気配管を必要とせず緊急災害時にも稼働可能な先進機能性、安全性を備えています。



## X線TV装置

平成23年7月29日

手術室に「日立メディコ フローティング式外科用X線TV装置 Sirius Floating/C」が導入されました。移動式のX線撮影装置で、術中の患部診断及び整復、外科手術支援等に必要な装置です。優れた操作性と機能性により、時間短縮、被ばく量低減等、治療体制の強化が図られます。



## 麻酔器

平成23年8月11日

手術室に「GE ヘルスケア・ジャパン全身麻酔装置 エスティバ 7900SE Pro」が導入されました。この装置は麻酔導入や麻酔維持及び呼吸管理をしながら全身麻酔を行うことができます。酸素、笑気、空気及び揮発性麻酔薬の混合が正確に行えると共に、意図した混合状態の麻酔薬を投与でき、未熟児から成人まで対応できる人工呼吸器を有しています。



## 患者監視装置

平成23年8月30日

手術室に「オムロンコーリン生体情報モニタ BP-608EV III」が導入されました。この装置は手術中の患者様の心電、血圧、体温などのバイタルサインに加え、呼気ガスと動脈血酸素飽和濃度を集中管理することにより、容態変化を早期に伝え、危険を未然に回避することが可能となり、より安全に手術を行うことができます。

